



眷属の守護

R18
ADULT ONLY



ある日
私は人間として
生きてゆけなくなった。

そして
悪魔に命を拾われた。



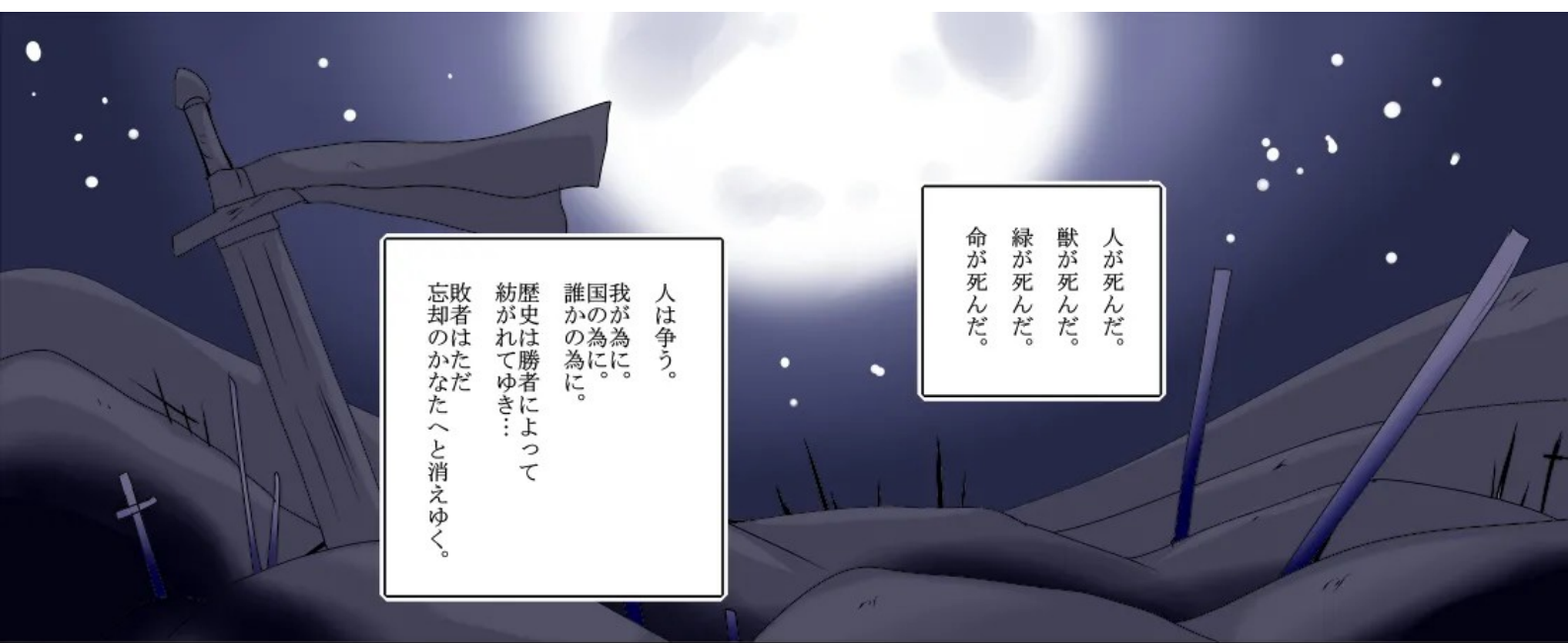
我が娘よ。

人は一人で
生きてはいけない。
にも関わらず
一人にされてしまった。

でも もう安心なさい。
悪魔に人間の原理
なんて当てはまらない。
あなたの思うように
生きなさい。



眷属の守護



人が死んだ。
獣が死んだ。
緑が死んだ。
命が死んだ。

人は争う。
我が為に。
国かの為に。
誰かの為に。
歴史は勝者によって
紡がれてゆき…
敗者はただ
忘却のかなたへと消えゆく。



故に人間の歴史の真実は
誰も語らぬ。

勝者は一握りの存在で
その足元には大量の亡骸と

亡骸の道を進るしかない
弱者が勝者の下へと
集まる…

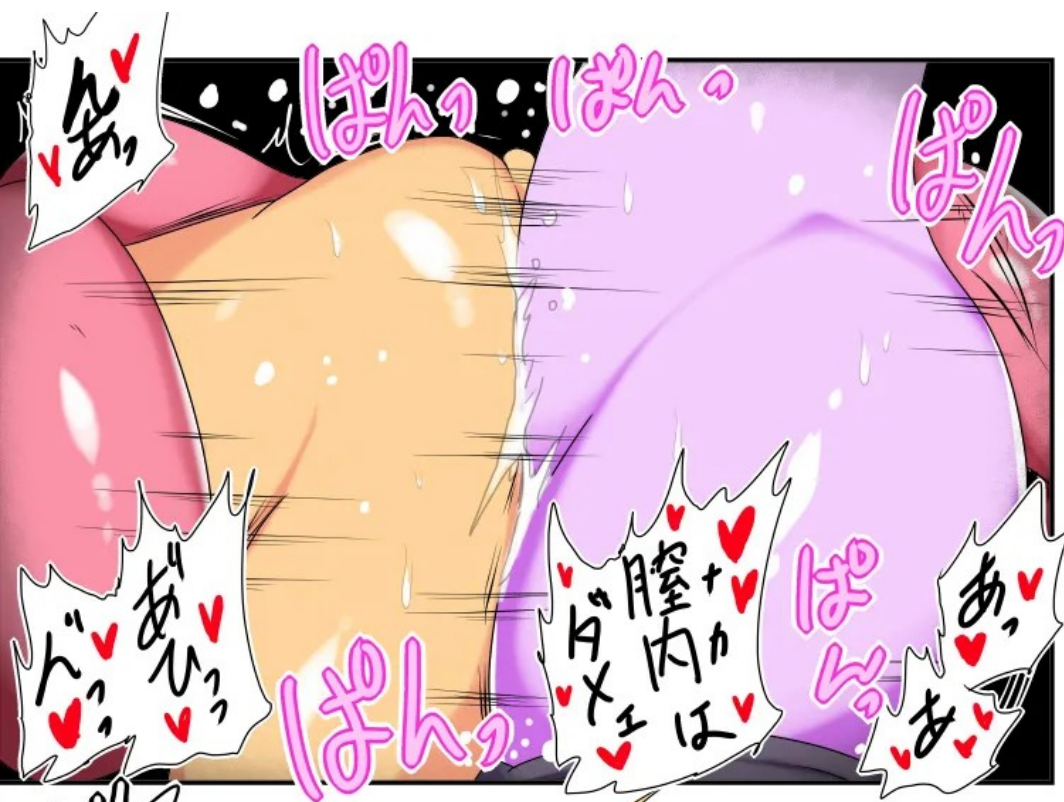
悪魔も顔を背ける
醜くも逃れられない
運命となつてゐる事を。

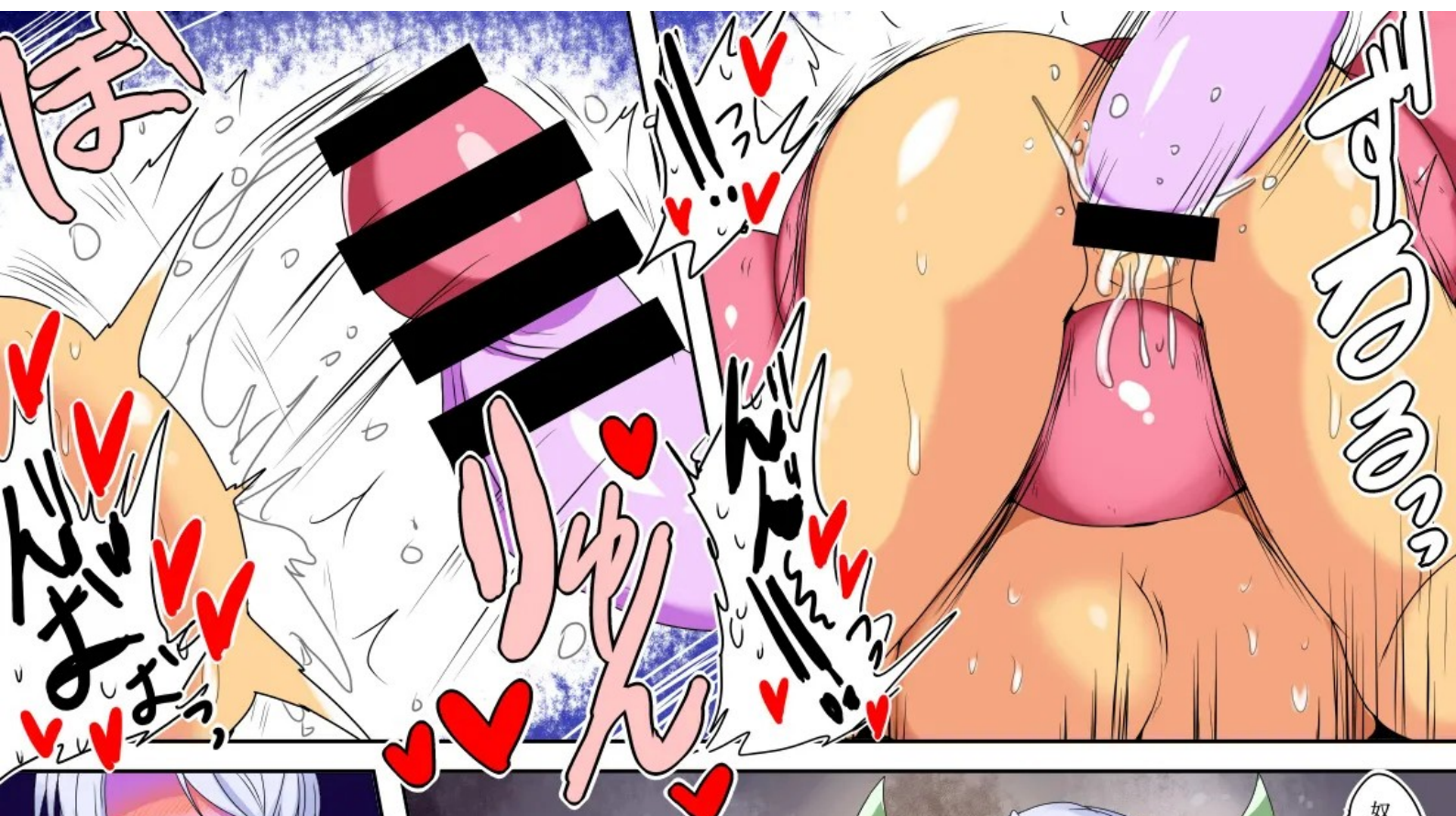


そんな中一人の悪魔は
人間の元へと暗躍する。

それは人間への更なる絶望か。

あるいは……









うふふ♪
暴れちゃだめよ♪

そのうちだんだん
気持ちよくなるから…♪

あらあら

随分見ない間に
淫魔っぽさが
板についてきてるわね？

ニコト？

ドポッ

ポッ

んぐんぐん

ドリ

ドポッ

キッ

ああんた…！

ゲッ

ゲッ とはご挨拶ね。

でも元気そうで
よかったわ。

今日は悪漢を成敗して
奴隷の解放かしら？

まるで義賊ね。
嫌いじゃないけどね。

悪魔になっても
自分の誇りを失わない
立派な娘になって
お母さん嬉しいわ♪

ううっさいわね！

あんたこそ
毎回毎回
私の母親づら
しないでもらえる!?



まあ そう言わないで。
たまにはあなたが眷族にした娘達にも会いに行つてあげなさいな。
みんな ミコトに会いたがつてるのよ。

ああそうそう

これ ミコトが私の娘になる前から好きな花だったわね。

この辺じやとても珍しい花だったかしら？

たまたま見つけてきて...

.....



ああ それとミコトが探していた母親.....

あぁ
どこまでお節介なのよ!!

私を拾ってくれたのは感謝してるけどさ!!
私に親なんていないわよ!!

もう!!
それじゃあね!!



...
...野盗を殺さない程度にアジトを壊滅させて

両親も殺されて身寄りのない奴隷を眷族にして解放...ねえ。
...ホント素直じゃないわね。

まあいいわ。

気絶している野盗を全員毒で骨ごと溶かしておきましょう。

あの外道達の命ごときであの娘に罪を背負わせる訳にはいかないものね。

あつ...
もう出てくるの...?

ゴボ...
ゴボ...

悪魔の子供として
産み直す事だ。

あいつ
私や淫魔の力は
こうやって尻尾で丸呑みにした人を
子宮に収め込んで…

モッ



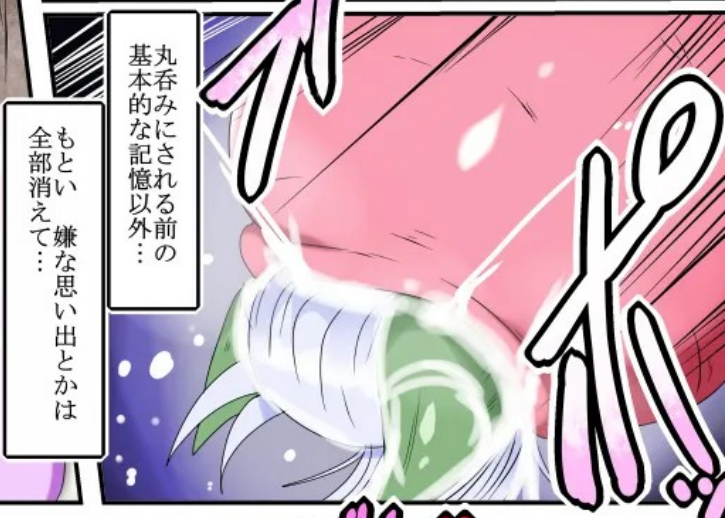
種族も悪魔となる。

文字通り
生まれ変わるのだ。

ベチャ

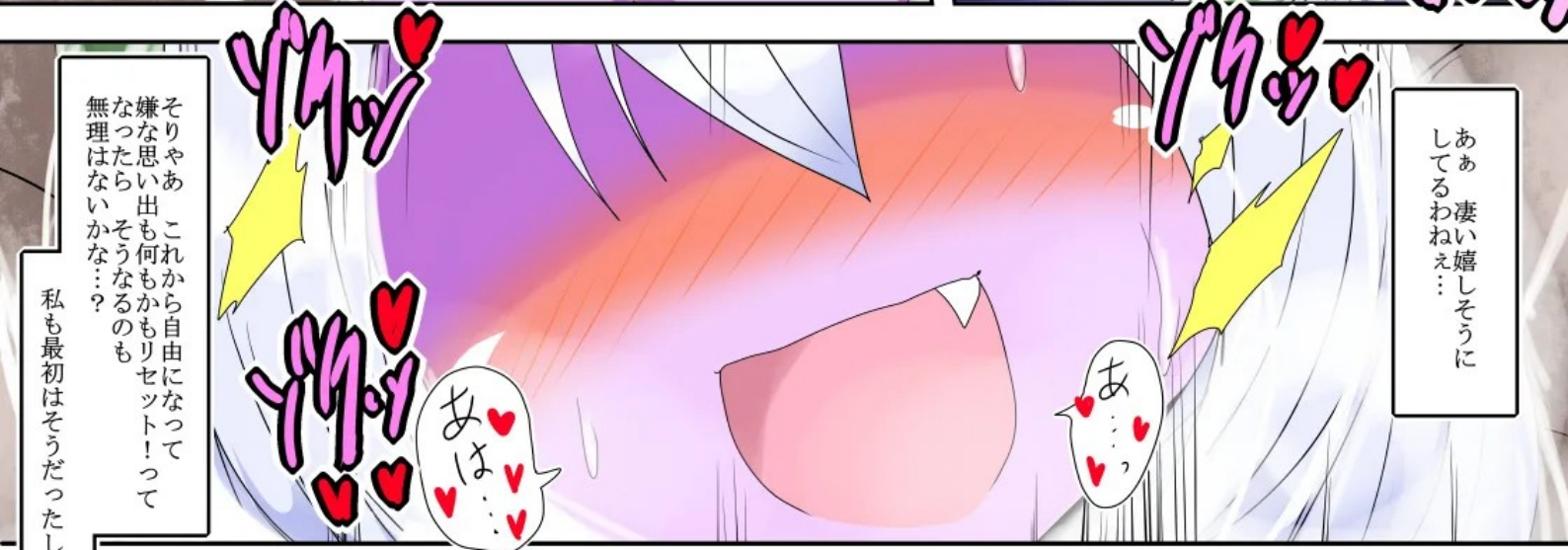


私みたいなレアケースも
あるんだって言うってたけど…



丸呑みにされる前の
基本的な記憶以外…

もとい 嫌な思い出とかは
全部消えて…



ああ 凄く嬉しいそうに
してるわねえ…

そりゃあこれから自由になって
嫌な思い出も何もかもリセット！って
無理はないかな…？

私も最初はそうだったし。

あは…

そして悪魔となった私達は
各々好きなように
生きていく。

そこに人間の論理等は
存在しない。

ある悪魔は自分の
ある悪魔は復讐の為
人間達を襲い 犯し
時には男を女の身体にして
弄び

眷属を増やしていく。

ミコト♡

あふ
ミコトだ♡

ミコト♡

それが私達
淫魔としての生き方…

って…聞いてただけど…

何故か私が産み直した
この娘達は

そんな いわゆる悪事に
全く加担する事もなく

おひゃう♡

ミコト♡

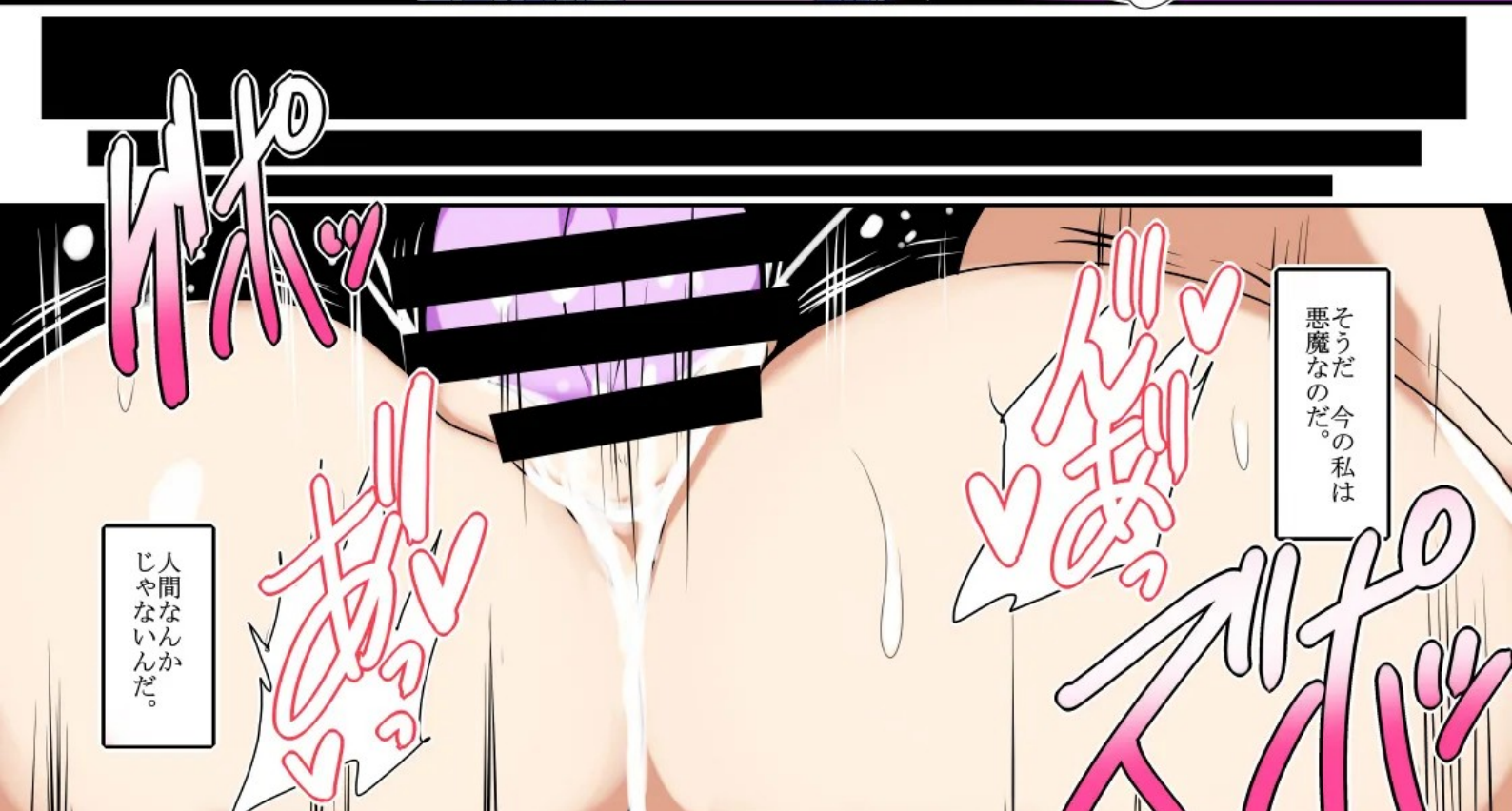
ミコトちゃん
お姉ちゃん♡

ミコト♡

えっちゃん♡

…なんかおかしくない!?

私にべったりひつついて
第二の人生を思いっきり
エンジョイしてる。



私は実の親に捨てられた。

私は人間として
生きることが許されなかった。

どう？
淫魔に突っ込まれるのって
人間とやるより
キモチイイでしょ？

そして
私は悪魔になった。

痛くないように魔法とか
かけておいたんだから
感謝してよね♪



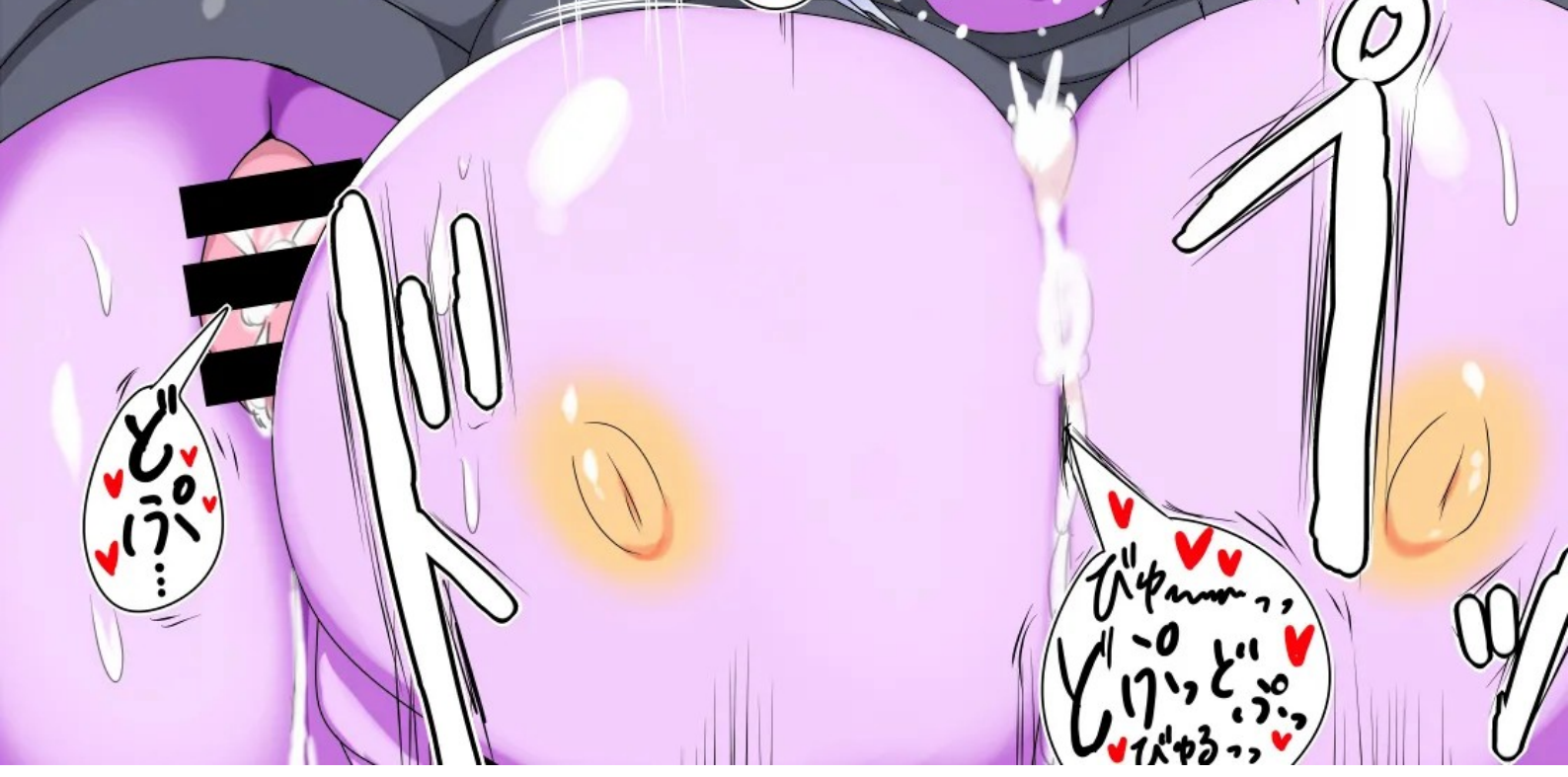
淫魔は自分の事をいって呼んでもいいと母とはいたけど...

私に親はいない。

これまでも
そしてこれからも。

私も挟ませた事あったけど結構クセになるわよね

ん...♡♡



最早人間に戻れるかい。
なんてのは分からない。

仮に人間だったとしても
どうせ死んでいたんだ。



それならば...



悪魔として生きてやる。

人間が嫌い恐れる
悪魔として生きてやるんだ。

そして私と同じような
思いをしてきた人間達を

私が一人残らず
悪魔にしてやるんだ。





人間として生きる事を
許されなかった人達に...

いくらでもチャンスを与えてやる。

理不尽に歯向かうチャンスを。

過酷な運命から
逃れられるチャンスを。

自由を...



ああ…

夢かしら…？
悪魔さんの姿が見えるわ…
こんな夜中にどうしたの？

いよいよ私の所にお迎えかしら…？

…残念ね。
私は死神でも
なんでもないわ。

あなたに伝えたい事があるの。

あなたの娘…
ミコトはまだ
生きていますわ。



そう…

よかった…
それを聞けただけで
本当によかったわ…

……

悪魔さんはご存知かしら…？

昔 この地域で戦争があつてね。

それはもう酷かったわ。

娘以外の家族は全員
殺されてしまつて…

娘は…ミコトは
逃げる途中で事故で
離れ離れになつて…

でも 一瞬…

一瞬だけ 私はあの娘の安否より
自分の命の方を選んでしまつた。

そして今はこうなつてしまつたの。

…とても重い病氣でね。

奇跡でも起きないと
もう数日しか生きられないんですって。



天罰が当たつたのよ。

母親失格である この私に。

でも…

ミコトが生きているなら…

もう思い残すことなく
地獄へ堕ちる事が出来るわ…

死なせないわ。

まだ終わらせない。

私や 他の娘達も

そんな運命は
許さないから。



この地域で大規模な戦争があつてね。

私の家族と結婚を約束していた男が死にやつてさ。

そして私はそのまま野盗に拉致された。



もしもミコトが来てくれなかったら今頃私は奴隷として売り飛ばされてたんだよ。

当然 あんたが来るまでは慰みモノとして滅茶苦茶にされてた訳だけどもさ。

あんたはそんな私の身体を悪魔の力：？か何かでしつかり綺麗にしたんだよね。



あれは本当にキツかった。好きな男とやるのと違つて心がどんどん折れていくのを感じた！



その後私を無理やり抱いたけど

悪魔の力でとびつきり気持ちよくして幸せいっぱい感じるようにしたよね？

人間として考えると道理は外れてるけどさ。

あれもミコトなりの気遣いだったんだって皆から知つたのよ。

無理やりあんな事やつたのも

「悪魔にしたのはミコトだ。」って「強姦をしたのはミコトだ。」って

全ての罪を全部ミコトが背負つて

私達にはもう一度生きるチャンスを与えていた！

ぽん



……そして、これが
悪魔の私が見た
最後の光景だ。

あ……

あいつに再び尻尾から
丸呑みにされて
子宮へと運び込まれる……

ゴボ……

ゴボ……

ゴボ……

ただ、今となっては
私がかつて悪魔になっては
という事実ですらおぼろげだ。

グ……

私の母も以前病気があったのだが
ある日を境にウソのように元気になった。

グ……

グ……

何故なら、今では

母親と離れ離れになった頃からの
記憶がぶつとりとなくなっているからだ。

だが、それと同時に「母の中では
「戦争から二人で逃げ切った」という
記憶になっているという。」

……そんな記憶の食い違いからか

だから私はこんな感じの夢を
たまに見る。

そして現実……

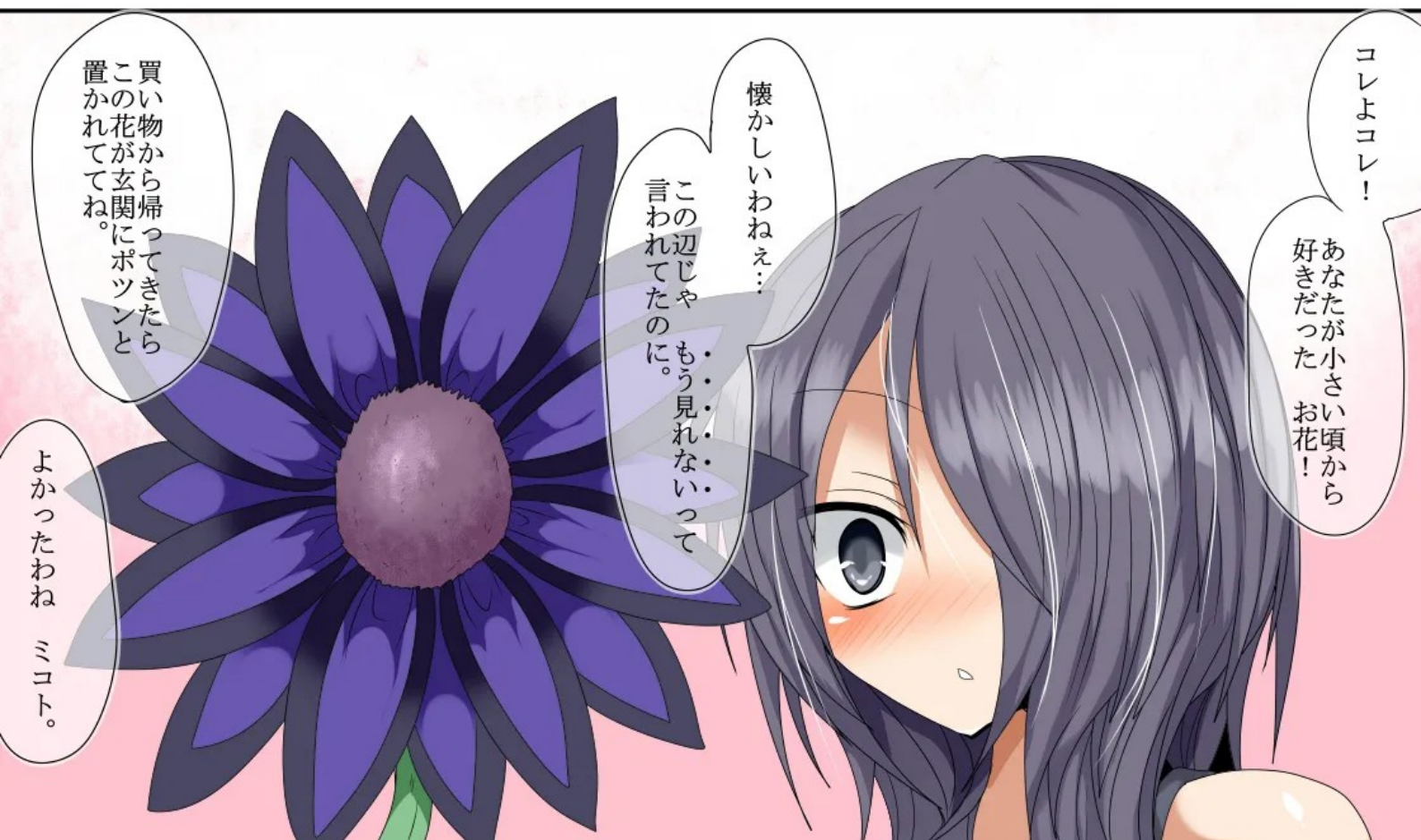
戦争が無くなり、平穏が戻った。

「世界中の孤児の
数が減った」事だったり……

「何年も行方知れずだった子供達が
元気に成長して親の元に帰ってきた」とか

まるで戦争という災厄の後に
何者かが後始末をしているような

そんな幸福までもが、平穏と共にやってきた。





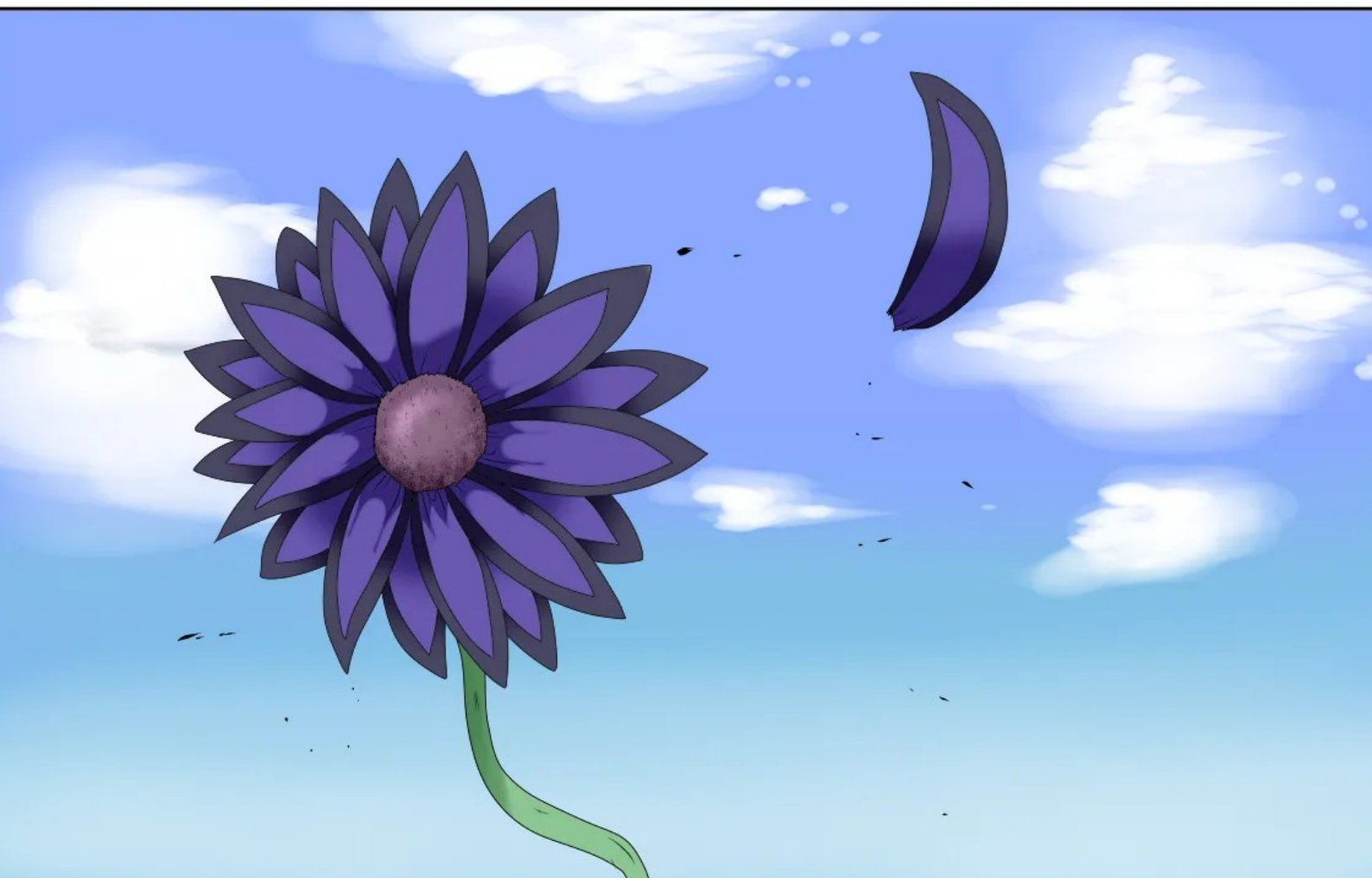
お母さん…

…ありがとう…

うん

…うん

私… その花 大好き。



どうも タクです。

初めましての人 初めまして。
こんにちはの人 いつもお世話になっております。

この度は眷属シリーズの続編「眷属の守護」をご購読いただき
ありがとうございました。

今回はいつもと比べ 眷属化した娘が中心となるお話になりましたが
いかがでしたでしょうか。

というのも 今回のコロナウィルスによるコミックマーケット中止により
改めて時間が出来た事により これを機に 改めて自分自身の作品を
再度見つめなおす事になりました。
(ここ最近 なんだか迷走しているように感じたので)

ここ最近の作品 もとい 眷属シリーズの作品を見ると
本作の名無しの淫魔さんが 同サークルの作品の
「あなたの身体シリーズ」の淫魔と性格が混同してしまっている節が見られたり
その他様々な反省点と改善点が多く見受けられました。

そして自分の作りたいものは何か? というのをもう一度考えたりもしました。

…本作はそれらの改善点や考えを少しでも活かしながら 制作をいたしました。

他のサークル様と比べたら まだまだ若輩者の身ではございますが
今後も成長を続ける幻想ストマックを どうぞお見守りくださいませ。

それでは また

幻想ストマック タク

代表者 タク/幻想ストマック
連絡先 takuneko0828@yahoo.co.jp
pixiv 1626319
twitter takukuroneko

無断転載 複製 二次使用 翻訳などの加工を一切禁止します。
本作の無断違法公開を見つけた際には
検索サイトへのDMCA侵害申請 サーバー会社への通報
及び悪質な場合は損害賠償の請求などの対応を
とらせていただく場合がございます。

成人向けなので18歳未満の人は見ちゃダメよ!
また 本作の影響による第三者の犯罪 事件 事故等は
当サークルは一切関与いたしません。



幻想ストローク